

バイクのことなら

**BIKE 王**

株式会社バイク王&カンパニー

証券コード：3377

株主の皆様へ

## 第20期 株主通信

2016年12月1日～2017年11月30日

### トップメッセージ

「バイクライフの生涯パートナー」という  
ビジョンの実現を目指し、  
買取と小売の融合を継続推進することで、  
成長軌道への回帰を図ります。



代表取締役社長執行役員

石川 敏彦

平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第20期(2017年11月期、以下20期)の概況および第21期(2018年11月期、以下21期)の基本戦略と取り組みについてご説明申し上げます。

#### ▶ 20期の概況について

当社は期初より、小売販売の拡大を戦略の軸とし、新たなお客様との接点を拡大する「小売販売台数の増加」と小売販売を拡大するために重要な「仕入台数の増加」の二つの方針のもと、あらためて会社を成長軌道に乗せられるよう「小売販売チャネルの拡充」「仕入業務オペレーションの見直し」「人財採用・育成の強化」の三つの施策に取り組んでまいりました。

上記を踏まえ、20期においては、19期に引き続きエリアマーケティングに注力しマーケットポテンシャルを見極めたうえで、既存の買取店舗ならびにバイク用品店との協業等による小売販売を開始し、小売販売チャネルの拡充に取り組みました。これにより、小売販売を実施している店舗は、期初から28店舗増加し46店舗(当社店舗数全58店舗)となりました。

また、重点課題として取り組みを強化している「仕入台数の増加」については、下期以降、広告宣伝活動において出張買取サービス訴求強化とマス広告の媒体構成の最適化を図るとともに、継続的な仕入業務オペレーションの見直しを実施いたしました。これらにより、高収益車輛の確保を含め仕入台数は上期と比べて改善が図られました。さらに、人財採用・育成の強化においては、ビジョンの実現に向けた人財育成として小売販売と買取の両業務を遂行するための研修等に注力いたしました。

しかしながら、小売販売チャネルの拡充における出店計画が未達となったこと等により、上期までの営業赤字を払拭するまでには至りませんでした。

また、バイクの駐車環境の整備を目的に駐車場事業を展開してまいりましたが、バイク事業の業績改善に一層注力するため、同事業を譲渡いたしました。

以上の結果、売上高18,252百万円(前期比7.4%増)、営業損失263百万円(前期は503百万円の営業損失)、経常損失92百万円(前期は394百万円の経常損失)、当期純利益401百万円(前期は586百万円の当期純損失)となりました。

## 21期の基本戦略と取り組みについて

当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、19期より中期経営計画を策定し進めております。ここでは、従来のバイク買取専門店としての「バイク王」から、バイクに係る面と時間軸の広がりを持ったサービスを総合的に提供する「バイクのことならバイク王」と言われるブランドへの進化を掲げております。

よって、21期においては、会社全体の販売台数を20期並みに維持したうえで、リテール販売(小売販売)台数の比率を20期比4%増の15%に高めて利益を増加させることを骨子とし、リテール販売(小売販売)の強化、リテール販売のための仕入の充実を基本戦略として事業展開を推進いたします。

リテール販売の強化においては、これまで同様の店舗展開、特に他社とのアライアンス強化による好立地への出店を進めてまいります。また、あわせて整備体制の強化・店舗業務オペレーションの見直しを推進し、お客様に選ばれるサービスを提供してまいります。

次に、リテール販売のための仕入の充実においては、広告の媒体構成の最適化を図りながら積極的な広告を展開

するとともに、人財採用・育成の強化と継続的な仕入業務オペレーションの強化によって安定的に高収益車輛を確保してまいります。

また、これらを実現するために出店にともなう設備投資、リテール販売用の在庫台数増加等、リテール販売のための強化を行ってまいります。

## 配当について

当社は、配当を株主還元における重要施策と考えており、安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績等を勘案したうえで配当金額を決定しております。この方針に則り、20期の期末配当につきましては、期初予想どおり2円(中間配当とあわせ年間4円)とさせていただきます。

また、21期の配当についても中間2円、期末2円の年間4円を予定しております。

最後になりますが、21期においては、バイク事業に専念し、黒字化を最重点課題と捉え、収益構造の強化に取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 通期業績予想

	(単位:百万円)			
	20期実績* 2017年11月期	21期 2018年11月期(予想)	増減額	増減率(%)
売上高	18,252	19,000	747	4.1%
営業利益(△損失)	△263	5	268	—
経常利益(△損失)	△92	130	222	—
当期純利益	401	50	△351	△87.5%

\*20期実績は、2017年11月30日付で譲渡した駐車場事業の業績を含んでおります。

## 【ご参考】駐車場事業の影響額 (単位:百万円)

	20期実績 2017年11月期
売上高	711
営業利益	13
経常利益	26

## 20期の取り組みと21期の骨子

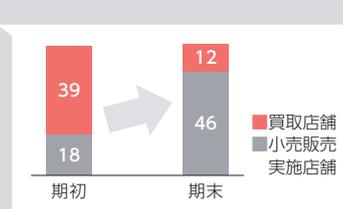
# 「バイクライフの生涯パートナー」というビジョンの実現に向け、

20期の  
取り組み

## 小売販売の拡大を軸に、三つの重点施策を実施

1. 小売販売チャネルの拡充 **PICK UP**
2. 仕入業務オペレーションの見直し
3. 人財採用・育成の強化

- ① 小売販売実施店舗が18店舗から46店舗へ増加
- ② 新たな販売窓口「バイク王 バイクコンシェルジュ」を2拠点に設置
- ③ 小売販売の整備車輛に特化した物流センターを開設



## 財務情報

		18期 2015年11月期	19期 2016年11月期	20期 2017年11月期	21期 2018年11月期(予想)
売上高	(百万円)	18,412	16,996	18,252	19,000
営業利益(△損失)	(百万円)	234	△ 503	△ 263	5
経常利益(△損失)	(百万円)	332	△ 394	△ 92	130
当期純利益(△損失)	(百万円)	172	△ 586	401	50
純資産	(百万円)	4,173	3,522	3,867	—
総資産	(百万円)	5,480	4,796	5,392	—
1株当たり純資産	(円)	302.06	252.22	276.96	—
1株当たり当期純利益	(円)	12.48	△ 42.43	28.74	3.58
自己資本比率	(%)	76.1	73.4	71.7	—
自己資本利益率	(%)	4.1	△ 15.2	10.9	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	178	△ 487	7	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 37	△ 146	567	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 185	△ 104	△ 92	—
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	2,265	1,526	2,008	—
1株当たり配当金	(円)	10	4	4	4

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、株主の皆様とバイクの魅力を共有することを目的に、株主優待を実施しております。

### 株主優待制度の概要

対象となる株主様	2017年11月30日を基準として、当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上を保有する株主様
株主優待の内容	当社がリテール販売(小売販売)する全てのバイク購入にご利用可 バイク1台につき1万円割引でき、単元株主様1名につき1枚配布
有効期間	2018年3月1日から2019年2月28日まで
ご利用可能店舗	全国のバイク王各店舗 ※詳細は、以下当社コーポレートサイト内の「バイク王店舗一覧PDF」をご覧ください。 IR情報→株式情報→株主還元・配当(株主優待制度)( <a href="http://www.8190.co.jp/ir/pdf/yutai/2018.pdf">http://www.8190.co.jp/ir/pdf/yutai/2018.pdf</a> )



## リテール販売(小売販売)の展開をさらに強化

21期の  
骨子

会社全体の販売台数を前期並みに維持したうえで、  
リテール販売(小売販売)台数の比率を高めて利益を増加させる



### 【基本戦略】

- 1.リテール販売(小売販売)の強化
- 2.リテール販売のための仕入の充実

### POINT

リテール販売強化への  
先行投資(店舗・在庫・システム等)に注力

## 会社概要

商号 株式会社バイク王&カンパニー  
 本社所在地 〒108-0022 東京都港区海岸三丁目9番15号  
 LOOP-X(ループエックス)13階  
 事業内容 バイクの購入から売却までをトータルプロデュースする  
 流通サービス業  
 設立 1998年9月(創業1994年9月)  
 資本金 590百万円  
 従業員数 752名  
 店舗数 57店舗(2018年2月27日現在)

## 役員(2018年2月27日現在)

取締役	取締役(監査等委員)		
代表取締役社長執行役員	石川 秋彦	取締役 常勤監査等委員	産形 昭夫
取締役会長	加藤 義博	取締役 監査等委員(社外)	山口 達郎
取締役常務執行役員	大谷 真樹	取締役 監査等委員(社外)	齊藤 友嘉
取締役執行役員	小宮 謙一		

## 株式の状況

発行可能株式総数 普通株式 60,000,000株  
 発行済株式の総数 普通株式 15,315,600株  
 (自己株式1,350,000株を含む)  
 株主数 5,014名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
石川 秋彦	3,922	28.1
加藤 義博	3,059	21.9
有限会社ケイ	900	6.4
株式会社ユー・エス・エス	773	5.5
本多 均	745	5.3
石川 ゆかり	428	3.1
加藤 信子	294	2.1
バイク王&カンパニー従業員持株会	282	2.0
株式会社G-7ホールディングス	150	1.1
松山 太河	104	0.7

※1 当社は、自己株式を1,350千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ※2 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 ※3 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 ※4 持株比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

## 株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで  
 定時株主総会 事業年度末の翌日から3ヶ月以内  
 定時株主総会の基準日 11月30日  
 剰余金の配当基準日  
 ・期末配当 11月30日  
 ・中間配当 5月31日  
 株主名簿管理人および  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 0120-232-711(フリーダイヤル)  
 受付時間：午前9時から午後5時まで(土日祝祭日を除く)  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou>  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 公告方法

電子公告により行う  
 (当社ウェブサイト：<http://www.8190.co.jp/>)  
 ただし、事故その他やむを得ない事情により電子公告による  
 ことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う

## 当社ウェブサイトのご案内



### コーポレートサイト

<http://www.8190.co.jp/>

企業情報や事業内容、IR情報など、ステークホルダーの皆様へ積極的に情報開示しています。



### ブランドサイト

<https://www.8190.jp/>

バイクのことならバイク王へ。バイクを探したい時や売りたい時など、まずはブランドサイトへアクセスください。



### Bike Life Lab

<https://www.8190.jp/bikelifelab/>

すべてのライダーにおくるバイク情報サイト。最新&専門情報はもちろん、耳よりコラムやロード情報まで厳選ピックアップしています。

バイクのことなら

**BIKE 王**

〒108-0022  
 東京都港区海岸三丁目9番15号 LOOP-X(ループエックス)13階  
 TEL 03-6803-8855 FAX 03-6803-8814

